

事務事業評価シート

H28(標準事業)

①基本事項	計画コード	事業名	部名	市民文化部文化振興局
	19320-1	亀山市域近世近代史資料調査事業	室名	文化スポーツ室歴史博物館
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	04:歴史文化の継承	務	款 教育費
施策体系	施策の方向	03:文化財の保存・活用	科	項 社会教育費
	戦略プロジェクト		目	目 博物館費

②目的・概要	対象	市民および亀山市への来訪者
	目的	田中稻蔵家所蔵の古文書類、典籍、民俗資料、美術工芸資料を、今後の史資料の保存活用へと展開させていく。
概要	伝統的建造物群保存地区内の旧田中家住宅に伝存する田中稻蔵家所蔵の古文書類、典籍、民俗資料、美術工芸資料を調査し、近世関宿からの商家史資料を通じた近世、近代の田中家と関宿の移り変わりの歴史を明らかにする。国庫補助金を活用し、調査を行う。	

		27年度	28年度
③指標	①	名称 見積もり調査点数に対する調査進捗	計画値
	補足		実績値 3,700
			単位 点
②	名称	計画値	
補足		実績値	
		単位	
③	名称	計画値	
補足		実績値	
		単位	

年度計画				年度実績			
				28年度 調査点数5,400点(実績)			
				調査報告書の作成編集刊行			
④事業の計画・実績	事業費		計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ① 4,706
		事業費		2,870	2,837	一般職員人件費 ② 3,662	平均給与額×③
		国庫支出金		1,435	1,414	所要人員 ③ 0.50	
		県支出金		200	256	臨時職員人件費 ④ 1,044	
		地方債				受益者負担額 ⑤	
		その他				受益者負担率	0.0% ⑤ / ⑥
		一般財源		1,235	1,167		
		再掲	翌年度への繰越額				
			前年度からの繰越額				
			総人件費		① 4,706		
	総コスト		⑥ 7,543				

⑤事業の評価	【事業の成果】	28年度は、調査と調査とともに中間報告として、歴史ひろば「田中稻蔵家資料調査速報展」を開催した。田中家の歴史的な特色を現すために、残されている民俗資料、書画、写真類は、併せて生活資料と位置づけることとした。また、古文書、典籍類の調査は、見積もりより多いことが判明した。歴史ひろば「田中稻蔵家資料調査速報展」は、会期が15日と短かったが、499人の観覧者があった。史料撮影が予定より進んでいない。	総合判定
	【反省点・課題】	29年度に500点ほどの未調査があり、また、史料撮影が予定より残った。	A 順調に進んだ
	【改善の方向性】	29年度は、7月までの補足調査と、平行している史料撮影作業を11月まで行う。ことで、報告書作成に影響が出ないようにする。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 歴史博物館長 小林 秀樹